

地域委員会に期待するもの（支所長の思い）

23.5.18 川口支所長

長谷川 久

1 地域委員会とは

- ・ 地域の課題を議論する場
- ・ 川口全域のまちづくりを考える場
- ・ 地域の将来像を描く場（自分達の地域をこうしたい、と考える場）
- ・ 川口に合った地域自治の形（コミュニティ）を考える場
（総代方式、統括方式、NPO方式、ミックス形態）

2 役割は

- ・ 地域のまちづくりに関する提案機能
- ・ 合併後の住民の声の代弁者
 - * 陳情要望機関ではない
 - * 議会のように行政をチェック、監視する機関ではない

3 委員の性格、立場、立ち位置

- ・ 行政、支所のパートナー（対等な関係、仲間）
- ・ 地域のことは地域に住んでいる者が真剣に考える（基本的考え）
- ・ 地域代表や団体代表ではなく、個人として参画

↓ ↓

- パートナーになるには、地元情報に精通していること
- そのためには、住民団体の活動やイベントに大いに、顔出しし、活動に参加したり、自分の目で確かめる姿勢が大事。
- 支所として地域情報を送付する。同時に自ら集める。
- 議論しやすい雰囲気作り（リラックスし、何でも話しやすい委員会の場）

4 具体的な課題として（支所長の話提供であり、これに拘束されない）

- (1) JR 東日本㈱提案の「地域との共生施設」について
 - ・ 地元にとって、利用価値の高い施設を目指して（利用勝手のよい施設整備）
- (2) 10.23 オープン予定の震災メモリアル拠点施設「きずな館」について
 - ・ 運営を担うオール川口 NPO の地域あげての支援体制を築くために
- (3) (行政的に) ・ 学校、保育園の環境整備
 - ・ 地域の足の確保（交通対策）＝地域循環バスの利用促進
 - ・ 地域の宝を磨いて魅力アップ＝運動公園、温泉の活用